

## 14. ブナ林復元に向けての地域住民の取り組み

**寿都町** (地元高校生、club風の学校、寿都町、森林事務所)



ブナ種子採取のためのネット設置



国有林にて55本のブナ山取り実行



町有地へブナ山取り苗を刈種

約960粒のブナ種子を採取

**島牧村** (島牧で楽しむ会、島牧町、森林事務所)



ブナ種子採取のためのネット設置



村営地にてブナの種植え(発芽後ポットへ移植予定)



国有林にて108本のブナ山取り実行

村営地にて仮植え

## 15. 平成20年度 北限のブナ復元 プロジェクト実行内容



黒松内岳地区林道脇にて103本の山取り苗採取(夏期)と養生



黒松内岳地区 3016、3017林班  
(黒松内S2)のササ壘占箇所の  
機械地帯え(1.19ha)



黒松内岳地区 3017林班作業道脇にて  
50本の山取り苗採取(秋期)。  
黒松内岳地区 3016、3017林班の機械  
地帯え箇所での山取り苗(夏採取)56本  
と山取り苗(秋採取)50本の植え付け。



島牧地区3406林班(島牧S1)での  
更新補助作業(ササ刈)



## 16. 調査のまとめと課題

項目	調査内容	解析結果	課題
森林	目標林2林分、復元事業区4林分、対照区4林分、の計10林分の樹種構成の調査。	構成種のBAIによるDCA分析から序列化を行ったところ、黒松内エリアの目標林を特徴づけるのは、ブナ、ダケカンバ、コシアブラ、ハウチワカエデ、ベニタヤ等で、鳥牧エリアの目標林を特徴づけるのは、ブナ、ホオノキ、ベニタヤ、オオカメノキ等である。	①主体となるブナの復元手法の検討継続と、ブナ林構成種である他の広葉樹類の導入手法の検討。 ②新しいエリアでの展開（林分サンプル数の増加）。
哺乳類	哺乳類痕跡調査。 ネズミ捕獲調査。	哺乳類痕跡調査より生息種のリストを作成した。	リストの補完。
鳥類	ラインセンサス、 定点調査。	壮令林、ブナ林に樹洞性鳥類が多く出現する傾向がある。	キツツキ、カラ類の樹洞性鳥類のデータ蓄積が必要であることから、調査適期(4月下旬～5月末までの2回)のラインセンサス継続調査。
は虫類 両生類	ラインセンサス	生息種のリストを作成した。	リストの補完。
昆虫類	任意採取調査、 ベイトトラップ。	任意採取調査により生息種のリストを作成した。ベイトトラップにより16種226個体のオサムシを捕獲したところ、樹林性の種が多く出現した。	リストの補完と林床植生に変化を持たしたベイトトラップサンプル数の増加。